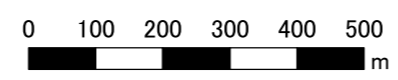


佐野川・見出川ハザードマップ



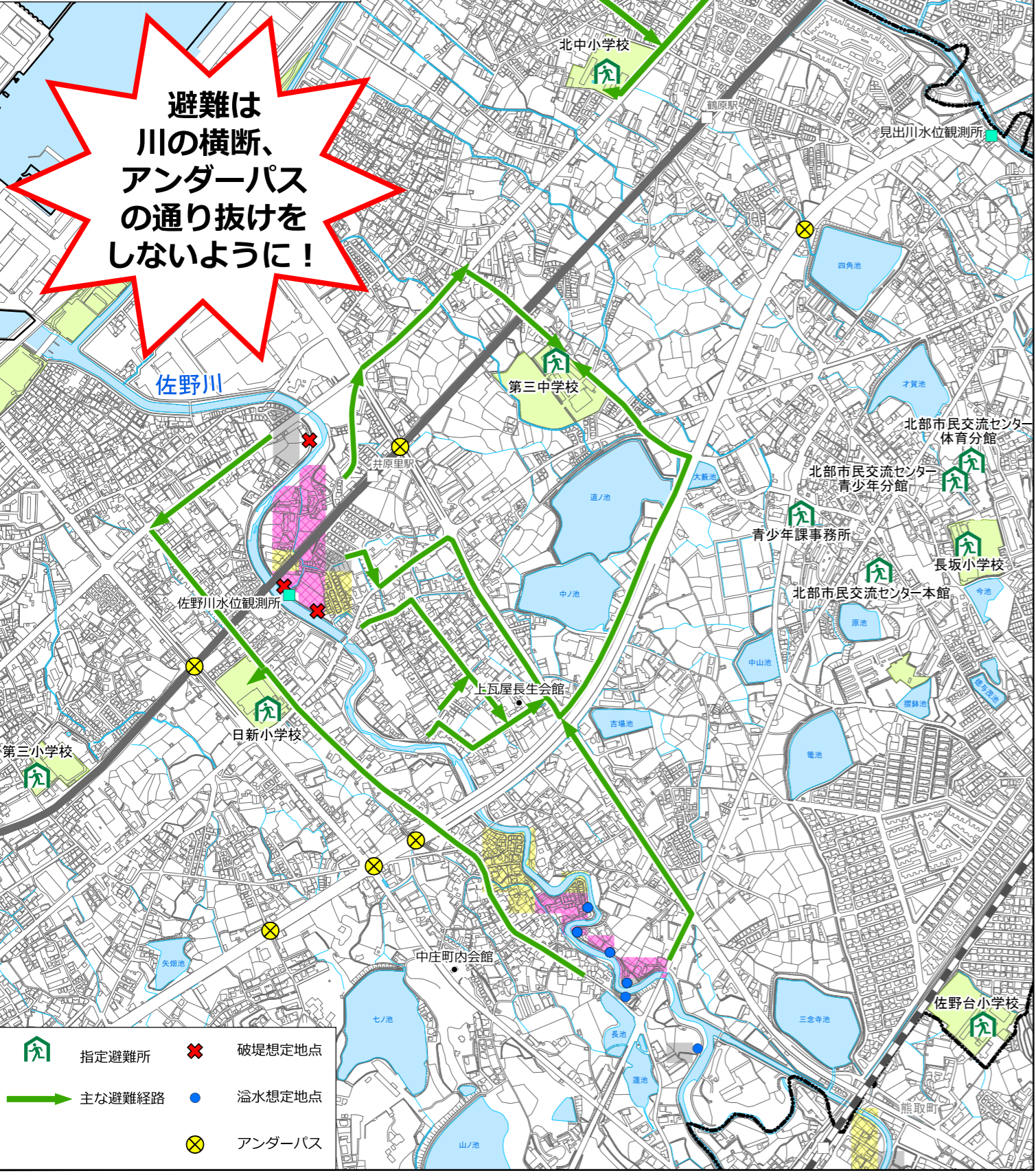
河川洪水リスク

大阪府が平成25年3月までに公表した、洪水リスク表示図の浸水範囲を示したものです。

100年に1度の確率降雨（1時間79.3mm）

- 床下浸水程度（0.5m未満）
- 床上浸水程度（0.5～3.0m未満）

200年に1度の確率降雨（1時間86.9mm）



- 指定避難所
- 破堤想定地点
- 主な避難経路
- 溢水想定地点
- アンダーパス

中庄ハザードマップ

作成日：平成28年7月

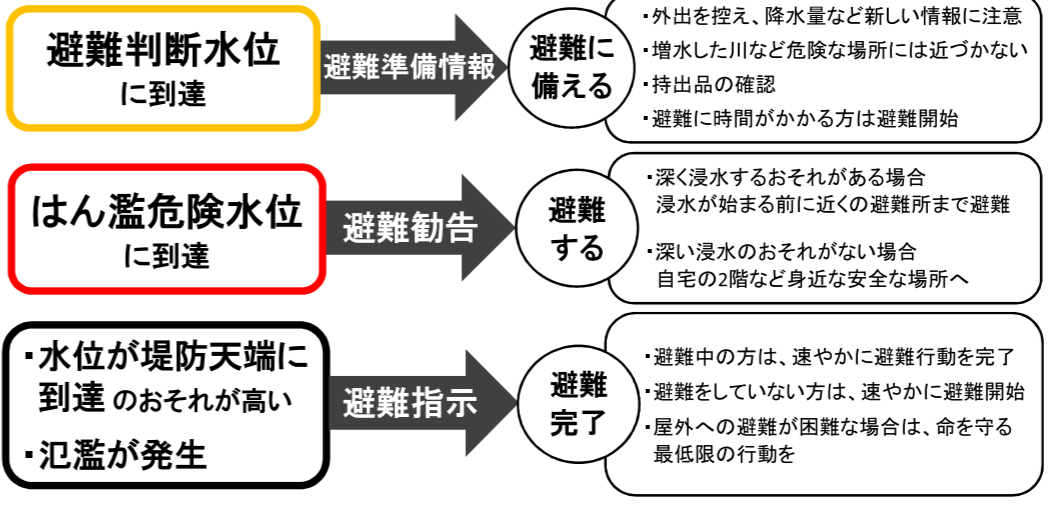
河川氾濫からの避難をメインにしたハザードマップです。

河川水位情報と避難

大雨による河川の水位上昇によって、避難勧告等の避難情報を発表します。

水位観測所	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
佐野川水位観測所	1.25m	(上流) 1.50m	(上流) 1.75m
		(下流) 2.00m	(下流) 2.10m

水位情報は「河川防災情報」(大阪府河川室)でチェック！「河川防災情報 大阪府」で検索！
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html>

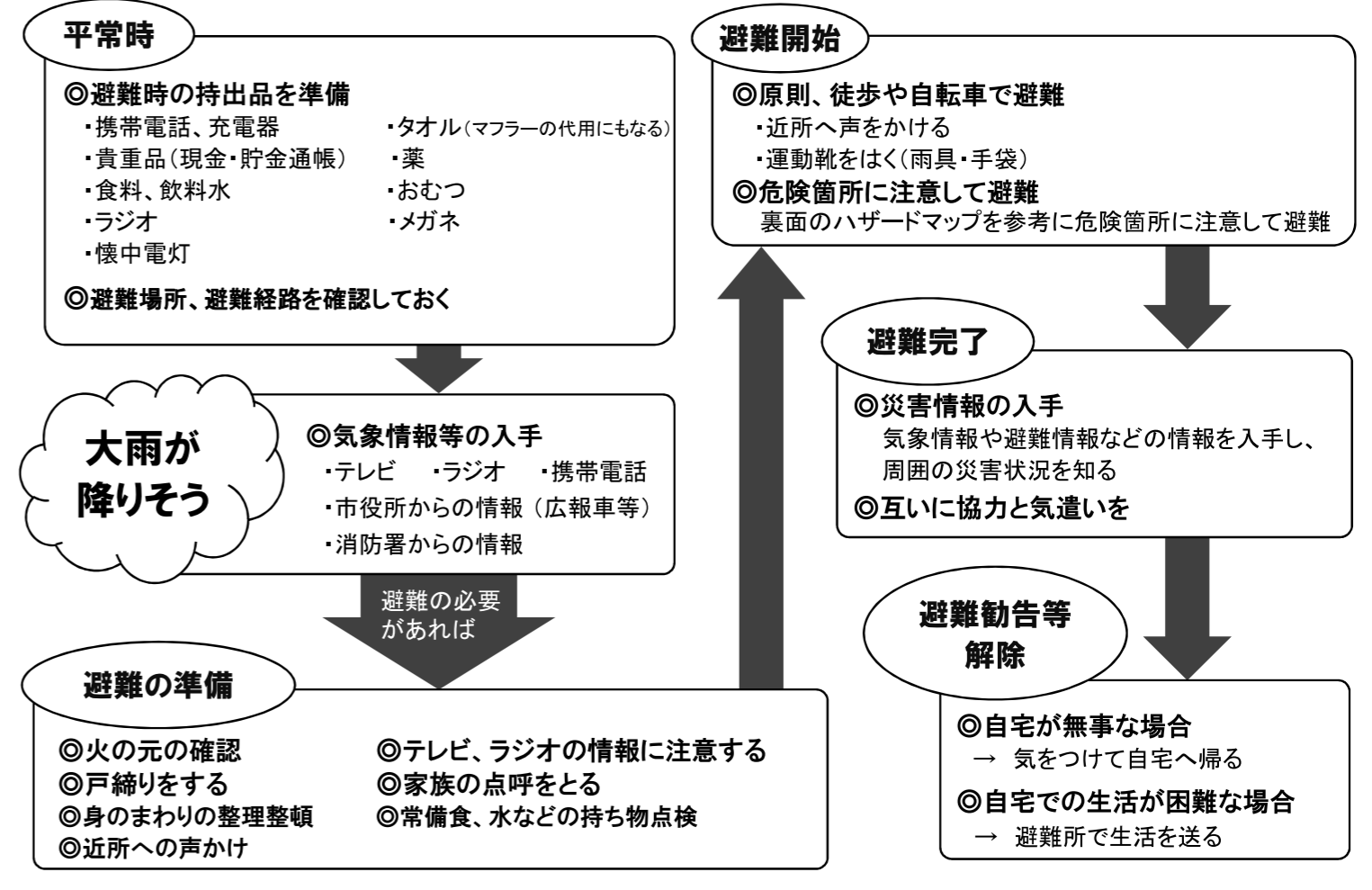


避難の三原則

- 原則 1 「想定にとられるな」**
 相手は自然、その想定を超える事態も当然あり得ます。
- 原則 2 「最善をつくせ」**
 「まさか氾濫しないだろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとりましょう。外が危険な状況なら、屋内の高いところへ。
- 原則 3 「率先避難者たれ」**
 まず自分が率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し、結果的に多くの人の命を救うことにつながります。
- 「岩手県釜石市の津波防災教育」より

洪水避難の行動

ワークショップで住民の方が意見を出し合い考えた避難行動です。



平常時

- ◎避難時の持出品を準備
 - ・携帯電話、充電器
 - ・貴重品（現金・貯金通帳）
 - ・食料、飲料水
 - ・ラジオ
 - ・懐中電灯
 - ・タオル（マフラーの代用にもなる）
 - ・薬
 - ・おむつ
 - ・メガネ
- ◎避難場所、避難経路を確認しておく

大雨が降りそう

- ◎気象情報等の入手
 - ・テレビ
 - ・ラジオ
 - ・携帯電話
 - ・市役所からの情報（広報車等）
 - ・消防署からの情報

避難の準備

- ◎火の元の確認
- ◎戸締りをする
- ◎身のまわりの整理整頓
- ◎近所への声かけ
- ◎テレビ、ラジオの情報に注意する
- ◎家族の点呼をとる
- ◎常備食、水などの持ち物点検

避難開始

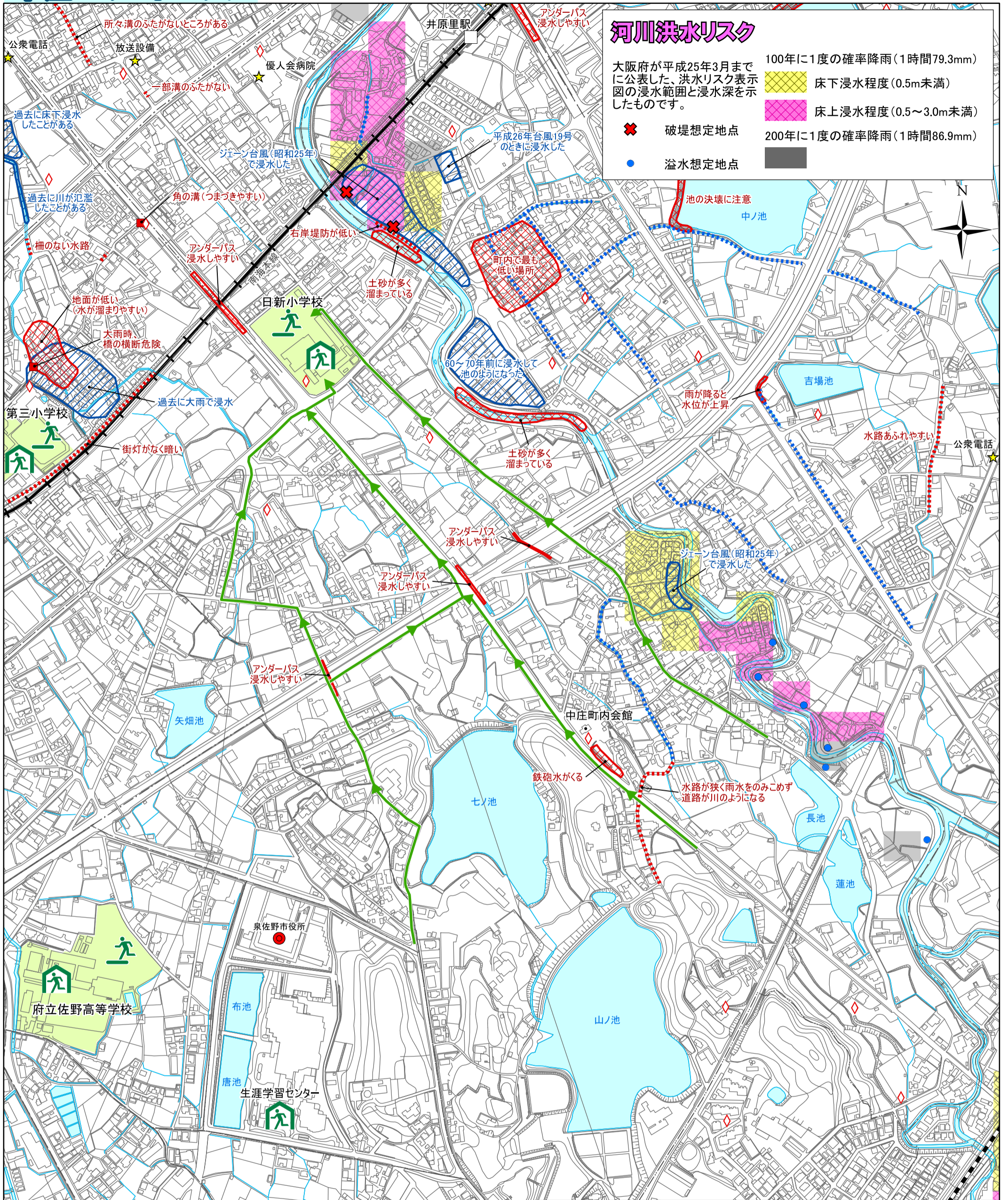
- ◎原則、徒歩や自転車で避難
 - ・近所へ声をかける
 - ・運動靴をはく（雨具・手袋）
- ◎危険箇所[※]に注意して避難
 - 裏面のハザードマップを参考に危険箇所[※]に注意して避難

避難完了

- ◎災害情報の入手
 - 気象情報や避難情報などの情報を入手し、周囲の災害状況を知る
- ◎互いに協力と気遣いを

避難勧告等解除

- ◎自宅が無事な場合
 - 気をつけて自宅へ帰る
- ◎自宅での生活が困難な場合
 - 避難所で生活を送る



マップづくりの様子



このマップは、市と町内会が協働し、過去の被害の聞き取りや、危険箇所、避難の経路等について話し合いをしながら作成しました。